

香美市の10周年をお祝い

10月30日、健康センターセレネ広場とその周辺施設で、10周年だよ！全員集合！！香美市大好きまつりが開催されました。

当日は、『これからの香美市への思い』をテーマに公募したフラフの原画を基に、世界で一枚のフラフが展示されたほか、昔なつかし写真展やマルシェ&フリーマーケットが催され、大勢の来場者で賑わいました。また、ステージでは香美市に縁のあるミュージシャンらによる歌や演奏が行われ、大いに盛り上がりました。



▲香美市の伝統的な産業であるフラフに思いを込めて

香美市市民大学

8月27日から10月1日にかけて第10回香美市市民大学が開催されました。

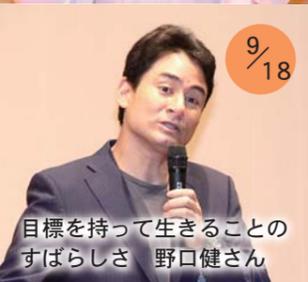
今年の市民大学は全4講座で、講師は三遊亭好楽さん、宮川花子さん、野口健さん、辻井いつ子さんでした。全講座で延べ1,023人が受講し、詰め掛けた参加者らは、それぞれの講師が話す笑いあり涙ありの講演に聞き入り、大きな拍手を送っていました。



8/27
笑い人生
三遊亭好楽さん



9/10
花子のいきいきライフ
宮川花子さん



9/18
目標を持って生きることの
すばらしさ 野口健さん



10/1
明るく、楽しく、そして
あきらめない生き方 辻井いつ子



白熱！ラージボール卓球

10月9日、宝町体育館で第2回香美市ラージボール卓球交流大会が開催されました。

当日は県内のみならず、岡山県からも参加者があり、全124組248人の選手による熱戦が繰り広げられました。1部決勝トーナメントでは、香美市ラージボールクラブの喜島・竹村ペアが強豪たちを相手に勝ち上がり、見事優勝しました。

1部リーグ

優勝 喜島・竹村ペア (香美市LBC)
準優勝 西村・恒石ペア (TEAM25)

2部リーグ

優勝 松本・山崎ペア (南国卓球ごめん)
準優勝 宮地・上村ペア (ヤマモモ)

3部リーグ

優勝 並川・川添ペア (まほろば南国)
準優勝 和田・竹村ペア (香美市LBC)

4部リーグ

優勝 岡林・公文ペア (オランダ100卓球部)
準優勝 徳島・大久保ペア (香美市LBC)

四電が防犯灯寄贈

10月21日、四国電力株式会社高知支店山田営業所の弘瀬所長が香美市本庁舎を訪れ、香美市長に防犯灯4基の目録を手渡しました。

同社は、毎年10月に行う『よんでんグループふれあい旬間』の一環として自治体へ防犯灯の寄贈を行っており、香美市に対しては平成4年から現在まで、431基の防犯灯を寄贈しています。防犯灯は通学路を中心に選定した4地区へ設置されました。



▲市長と握手する弘瀬所長

長年の功績を称えて 香美市市民賞

11月3日、第10回香美市市民賞表彰式が香美市役所で開催されました。

同賞は、産業・教育・文化・政治・福祉などの分野で活躍、貢献のあった方を表彰するものです。

今年は2名の方が受賞され、法光院市長のあいさつや来賓の依光県議会議員からのお祝いの言葉の後、表彰状と記念品がそれぞれに授与されました。

受賞されたお二人の、今後ますますのご活躍をお祈りいたします。

宇賀四郎さん (土佐山田町栄町) 70歳

宇賀四郎さんは、昭和54年から宇賀外科の副院長として、昭和55年からは院長として、宇賀循環器内科・歯科に改称後の現在まで、長きにわたり地域医療の発展に尽力されるとともに、山田小学校校医や香美署産業医として保健行政に貢献されました。また、高知県警察協力医会や香美郡医師会など、重職を歴任してこられました。

第10回香美市 市民賞表彰式



▲左から、市長、楠目精之郎さん、宇賀四郎さん、議長

楠目精之郎さん (土佐山田町楠目) 70歳

楠目精之郎さんは、昭和54年に楠目歯科診療所を開業して以来、長きにわたり歯科医師として、深い見識のもと地域住民と接する傍ら、高知県歯科医師会の理事を歴任してこられました。また、楠目保育園・なかよし保育園の園医歯科医、楠目小学校・山田高校の学校歯科医として、保健衛生の向上に大きく貢献されました。

祝100歳 これからも元気で

本年度、香美市では12名の方が100歳を迎えられました。10月6日には、市長が100歳になられた方の自宅などを表敬訪問し、内閣総理大臣からの祝状と記念品、香美市からの祝い金を贈り、長寿を祝いました。

写真は、祝状を手に笑顔の和田忠美さん。なんと和田さんは100歳という年齢ながら、ご自宅で自炊をされているというから驚きです。



▶市長とご家族とともに笑顔で賞状を手にする和田忠美さん(土佐山田町旭町)

ふるさと納税でアメゴ放流

10月25日、土佐山田町東川の新改川でアメゴ稚魚の放流事業を行い、地元の平山青年団や香長小学校1・2年生が参加しました。

これは、大阪府で会社を経営する福留栄仁さん(東川出身)の香美市に対するふるさと納税を活用し行われたものです。福留さんには「生まれ故郷の新改川の環境保全に役立ててほしい」という強い思いがあり、実現したものです。当日は、福留さんと、参加した24人の児童らが、アメゴの稚魚5千匹を放流しました。

